

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		市民ご意見ボックス設置事業				事業区分		担当	
						新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	060101000951
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	010101 秘書広報課
総合計画の施策名	0601		市民協働のまちづくり				課長名	秘書広報G	
政策名	06		みんなで築く自治のまちづくり				グループ	秘書広報G	
施策名	01		市民協働のまちづくり				担当者名		
手段名	01		①広報広聴の充実						
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 単年度繰返し (平成26年度~)		
	01	02	01	04	01	00	広報広聴事業 → 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市役所「ご意見ボックス」を大和・岩瀬・真壁庁舎、大和中央公民館、岩瀬体育館「ラスカ」、岩瀬中央公民館、真壁伝承館に設置し、行政(窓口)サービスの向上や職員の対応について来庁者の生の意見を把握し、良質なサービスを提供することを目的に設置しています。 寄せられたアンケートは所管課で対応を検討し、業務改善に繋げます。	公共施設7か所のご意見ボックスを毎月1日・15日頃に回収し、集計表の作成および関係課へ配付し、寄せられた意見・要望・苦情などの対応・改善しました。 また職員に関するご意見は、集計後、適宜職員課へ送付し、職員全体の改善へと繋がります。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
・公共施設7か所のご意見ボックスを毎月1日・15日頃に回収。 ・寄せられた意見、要望、苦情などを関係課へ配付。 ・集計表の作成及び、職員に公表。	投書件数	件	40.00	25.00	25.00	25.00	25.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
市民・市に対して意見をお持ちの方	人口	人	40,483.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
市民サービスについての評価・ご意見をいただき改善するとともに、速やかに対応することで市政に対する理解を深めてもらう。	実施改善件数	件	31.00	19.00	15.00	17.00	20.00
	市民からの意見提案数	件	35.00	22.00	25.00	27.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	0	0	0
		事業費計(A) 千円	0	0	0
	正規職員従事人数 人	1.00人	1.00人	1.00人	

		01年度事業費 実績 (千円)			02年度事業費 予算 (千円)		
事業費の内訳							
		合計		0		合計	0

事務事業名	市民ご意見ボックス設置事業	事務事業No.	60101000951	所属課	秘書広報課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 個人から広く意見・要望などを聴く広聴事業として、平成26年7月1日から開始した。意見、及び対応状況を職員に公開することで、業務の参考になっている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 意見は寄せられていない。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 窓口サービスの評価を身近な広聴手段として入手し対応できることは、広報広聴の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民ご意見ボックス設置事業は、全ての市民が窓口サービスや意見を述べる場であり、広聴事業の一環として必要である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ご意見ボックスの設置をPRすることで、投書数の増加を見込める。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 身近な意見を述べる場が失われるおそれがある。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がありません。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費はなく、最少人数で対応する人件費のみのため削減できない。
効率性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 来庁者を対象としており、公平・公正である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	さまざまなご意見をいただき、担当課で対応し、改善できることは改善できたと思う。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ご意見ボックスの設置をPRすることで、投書数の増加を見込める。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	④																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>